

# 景況レポート

(2月分・情報連絡員80名)

## DI値はマイナス一桁台を維持

～消費税増税前の駆け込み需要が旺盛～

【概況】2月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが23.8%(前月調査25.0%)、「悪化」が27.5%(同32.5%)で、業界全体のDI値は-3.7となり、前月調査と比較して3.8ポイント上回った。

内訳として、製造業全体のDI値は0.0となり、前月調査と比較して15.6ポイント上回った。非製造業全体のDI値は-6.3となり、前月調査と比較して4.2ポイント下回った。

前月に引き続き、消費税増税前の駆け込み需要による民間投資や、住宅建築、新車販売、家電販売等が好調に推移しているほか、繊維製品でも、駆け込み需要を見込んだ生産の増加が見られるなど、全体の景況DI値はマイナス一桁台を維持しており、16年ぶりの高水準となっている。一方、食品製造業や商店街などでは、好転が感じられないまま更なる業況の悪化を不安視する声も聞かれた。

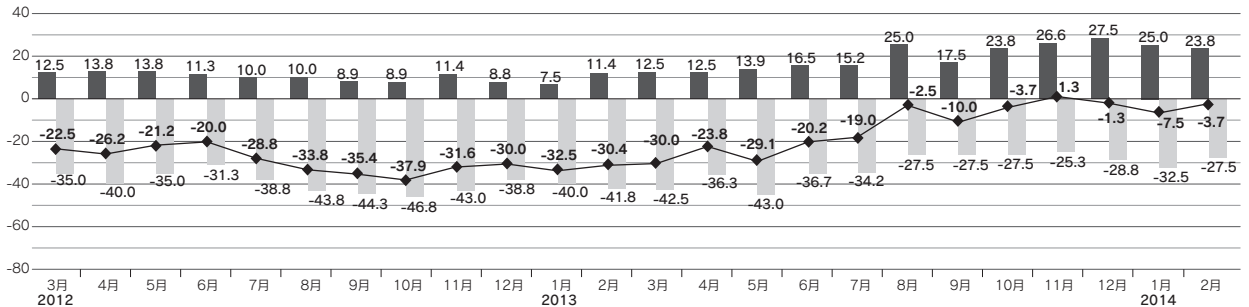
また、消費税増税を控えて、収益の確保に課題が残る声も多く、資金繰りの悪化が懸念される。(回答数：80名 回答率：100%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
業種						
製造業	☁	☁	☁	☔	☔	☔
非製造業	☁	☁	☁	☔	☔	☁

【凡例】  
 ☀ 快晴 30以上  
 ☁ 晴れ 10以上 30未満  
 ☁ 曇り △10以上 △30未満  
 ☔ 雨 10未満 △10未満  
 ☔ 雷雨 △30以下  
 【天気図の見方】  
 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合[前年同月比]



### 業界の声

- 食料品 (麺類製造)** 相変わらず厳しい状況。4月より消費税率が8%になることから、公正取引委員会に転嫁カルテル及び表示カルテルの届出をしたが、今後について危惧している。
- 繊維製品** 先月に引き続き、受注は好調である。しかし、一部に海外生産予定を国内生産に切り替えたと思われる商材があり、加工賃が安く採算の悪い仕事が増えて、収益確保は厳しい状況にある。
- 木材・木製品 (一般製材)** 製材品は、住宅着工数が依然として好調であることから、冬期間にもかかわらず順調に動いている。原木は、供給量が増えたため、価格も調整されてきた。
- 木材・木製品 (合板)** 国産合板は、まだ在庫が少なく、引き合いは旺盛に推移している。ただし、消費税増税後の一服感を予想する向きが多い。
- 窯業・土石 (生コンクリート)** 2月の出荷数量は前年同月比105.6%、4月～2月の累計では前年比108.0%で、今年度の出荷数量は800,000立方メートル(前年比107.3%)と予想される。販売価格は、各地区とも原材料価格が上昇し、値上げに動いている。
- 鉄鋼・金属 (機械金属)** 仕事量が前年同月比で大幅増加となっており、各社とも残業で対応している。
- 鉄鋼・金属 (鉄鋼)** 例年、冬場は仕事量が減少し、少し暇な時期となるが、今年は、多少の差があるものの各社90～100%の稼働率を維持している。
- 一般機械** 受注面では、ここ1、2ヶ月は前年を上回りそうである。ただし、依然として利幅の小さい受注が大半で、収益面は厳しい。
- 卸売 (商業卸)** 仕入れ価格の上昇に歯止めがかからない状況。製作工場や取付業者の確保が難しいことも仕入価格上昇の原因になっている。
- 小売 (自動車販売)** 2月の新車販売台数は、登録自動車が2,365台(前年同月比119.4%)、軽自動車が2,758台(同139.6%)で、合計5,123台(同129.5%)であった。前月同様、4月からの消費税増税による駆け込み需要と新型車投入効果により好調な売れ行きとなった。

小売 (石油販売)	ガソリン1ℓあたり157円30銭で前月比1円20銭の値下がり、軽油1ℓあたり141円70銭で前月比70銭の値下がり、配達灯油は18ℓで1,895円と前月比21円の値下がり。全種類とも4週連続の値下がりとなった。
小売 (家電販売)	消費税増税前の駆け込み需要の影響で、冷蔵庫、大型テレビ、フルシーズンエアコン等が好調である。
商店街	業種によって差があるものの、売上は前年同月比マイナスで、資金繰り、収益とも大変厳しい状況にある。飲食店も、駅前に客が流れ、苦戦を強いられている。コンビニ4店舗の集客は好調に見えるが、周辺店舗に波及効果はない。(秋田市)
サービス (旅行)	国内旅行は前年同月比104.0%、海外旅行は同100.7%と国内・海外とも好調に推移した。4月以降、消費税増税に伴う影響を注視していきたい。
建設業 (一般建築)	震災復興や消費税増税、その他の施策等により、工事が増えている。人・材料の不足により、その確保のため経費増となっているが、事業主や職人等は受注増により、例年の冬場よりも景況は良くなっている。
建設業 (電気工事)	2月は、総体的に多忙な月となった。特に、消費税増税前の掛け込み需要と思われる民間からの受注が多く、一時的に配線器具不足が生じたケースがあった。また、グリーン投資減税制度を利用し、太陽光発電設備を導入する動きも見られた。
運輸業 (トラック)	ここ数ヶ月好調だった輸送量が落ちついた。消費税増税前の駆け込み需要対策が一段落したのではないかと。
その他 (砂利採取)	各支部により業況に差があるが、アベノミクスによる公共工事の増加や、1月～3月は河川からの共同採取の時期であることから、総体的に採取量が増加している。

## 中小企業組合等支援施策情報

### ■平成26年度企業支援施策説明会の開催について (秋田県)

秋田県では、平成26年度の企業支援施策の周知を図るための説明会を、県内4会場で開催します。個別相談も実施しますので、お気軽にご参加ください。

※説明会は午後1時～3時、個別相談会は午後3時～4時です。

4月15日(火) 由利本荘市：本荘由利産学共同研究センター(2階研修室)

4月16日(水) 横手市：県立近代美術館(6階研修室)

4月17日(木) 秋田市：県庁第二庁舎(8階大会議室)

4月18日(金) 大館市：中央公民館(2階第1視聴覚ホール)

【お問い合わせ先】 秋田県 地域産業振興課 企業支援調整班 ☎018-860-2225

### ■商店街支援補助金つなぎ資金制度について (商工中金)

商工中金では、政府の施策に連動し、商店街支援の補助事業に採択された組合等の皆さまを対象に、補助金交付までのつなぎ資金「商店街支援補助金つなぎ資金制度」を創設しました。

また、補助事業における商店街振興組合等の皆さまの自己負担分の融資相談につきましても懇切丁寧に対応しますので、お気軽にお問い合わせください。

#### ○商店街支援補助金つなぎ資金制度の概要

貸付対象者：商店街支援にかかる補助事業の採択者

対象となる補助事業：「商店街まちづくり事業」「地域商店街活性化事業」「中心市街地活性化事業」

「地域商業自立促進事業(平成26年度予算成立後)」等

※必要に応じ担保・保証人をお願いします。

【お問い合わせ先】 商工中金秋田支店 ☎018-833-8531